



みらい創造一号ファンドが、
宇宙関連ベンチャー2社への新規投資を実行致しました
～投資先は合計15社に～

2018年12月27日
株式会社みらい創造機構

株式会社みらい創造機構（代表取締役：岡田祐之、以下「みらい創造機構」）は、2016年9月に「みらい創造一号投資事業 有限責任組合（通称：みらい創造一号ファンド）」を設立し、我々が有する産業界との幅広いネットワークを活用して、大学と社会との連携強化から新産業創出に向けた活動を行ってまいりました。

既に13社への投資を実行してきましたが、新規に宇宙関連ベンチャーの株式会社Synspective、株式会社天の技の2社に投資を実行し、投資先は全体で15社となりました。

【新規投資先】

1. 株式会社Synspective

事業：小型合成開口レーダ衛星（SAR衛星）の開発、等
種別：ImPACT 発ベンチャー（東工大廣川教授と共同研究）

<https://synspective.com/>

2. 株式会社天の技

事業：衛星姿勢制御装置、及び衛星用AIシステムの開発、等
種別：東工大“発”ベンチャー（東工大ベンチャー称号保有）

<https://amanogi.space/>

【当ファンドの特長とこれまでの取り組み、今後の投資領域について】

当ファンドは、「東工大」関連の人・技術を中心とするベンチャー企業への投資を積極的に行っており、本案件で15社への投資を実行してきました。既に投資済みの15社の領域としては、本件の宇宙/人工衛星を含め、ビッグデータ解析やセンサー、半導体、医療、素材、電子機器、VR、建築/不動産テック、教育テック等幅広く、今後多様な業界・領域のポートフォリオを組んでいきます。

今後とも、引き続き東工大関連ベンチャーを中心に積極的に投資を実行予定です。

<当ファンド投資対象>

- ① 東工大の研究成果を活用したベンチャー
- ② 東工大と企業とのジョイントベンチャー
- ③ 東工大の卒業生・関係者が創業したベンチャー
- ④ 東工大“着”ベンチャー（東工大技術・研究成果を導入または導入予定企業等）
- ⑤ その他の大学・研究所関連ベンチャー
（医学、農学、海洋領域等について東工大を含む大学その他の研究機関等と連携）

【みらい創造機構について】

みらい創造機構は、2016年5月に東工大と社会連携活動の推進に向けた組織的連携協定を締結し、共同研究・学術指導の推進、人材教育支援、ベンチャー育成支援等を行ってきました。連携協定に基づき、当ファンドを通して東工大とともに技術系ベンチャーの創出・発展を加速する取組みを展開してきました。当ファンドへの出資者と密接に連携しながら、資金のみではなく、「ヒト・モノ・情報」も含めた総合的な支援により、新産業の創生および投資リターンの極大化に全力を投入して参ります。

●みらい創造機構

TEL : 03-6311-6958

E-mail : info@miraisozo.co.jp

URL : <http://miraisozo.co.jp/>